

「同労者のマナー」

(Ⅱテモテ書から学ぶ、同労者の6つのタイプ)

チャーチ・オブ・ゴッド メキシコ派遣宣教師・
グアタラハラ教会牧師

阿部和子師



阿部和子師

私は伝道者、宣教師として1981年からメキシコで働き、4年に1度は帰国報告のために多くの教会に行ったりお招きに預かったりして、多くの牧師先生や副牧師先生にお会いしました。私のように海外にいる者にとって、そのような機会は人を見るセミナーのようなものでした。先生方との出会いの中で、学ばせていただき、観察させていただき自分を養育てきました。

第二テモテ 4章9～14節から、パウロの同労者の6つのタイプを見てみましょう。

1 デマス-退く同労者 (10節)

■デマスはパウロと共に働いた同労者でしたがパウロを捨てて離れて行きました。彼が退いた理由は、この世を愛してしまったからです。この世のプレッシャーに弱かったのかもしれませんが。要求される自己犠牲や、迫害、落胆、同労者との価値観の違い、自分に死に切れないなどの理由が彼を神様の働きから退けてしまいました。

2 テキコ-従う同労者 (12節)

■パウロがテキコを遣わそうとした時、彼はすぐに従いました。任地に関するパウロの指示を神様からのもの(みこころ)として受取った人です。このような人は神様によく用いられる人です。

3 マルコ-役に立つ同労者 (11節)

■マルコは、パウロとバルナバの反目の原因となった人です。しかし、マルコを足手まといになるとまで言ったパウロ自身が生涯最後の手紙で、彼は役に立つ者と表現しました。マルコはパウロと別れた後、神様に取り扱われ、自己鍛錬の期間を経たのでしょうか。たとえば自分の尊敬するリーダーに一度はダメだと言われたり失敗したとしても、あきらめてはいけません。神様の御手に陥るならば、同じリーダーに認められるチャンスは必ずあるのです。

4 テモテ-責任を果たす同労者 (13節)

■安心して頼みごとができる人です。

5 ルカ-忠実な同労者 (11節)

■同労者として、医者として最後まで仕えるべき器に仕えた人です。パウロの周りに誰もいなくなった時でさえ、ルカは共にいました。

6 銅細工人のアレキサンデル

-警戒される人 (14節)

■同労者ではありませんでしたが、警戒される人として名が挙げられています。彼はパウロたちの言葉に激しく逆らったとあります。その仕業に応じて主が裁かれるでしょう。

残念なことに牧師間においても、同労者間においても、また主牧と副牧の間においても問題が起ります。ですから、私の経験から同労者のマナーについてお話させていただきます。どなたかと働かせていただけることはすばらしいことです。リーダーや同労者に仕える期間は、みなさんが造られる時であり、練られる時ですからそのような環境を与えてくださるリーダーや同労者に感謝しましょう。以下は、神学生が卒業後、(主任牧師になる前に)副牧師や教会スタッフとして立つことを前提とした内容になっていますが、主にある兄弟姉妹が主に用いられる器となるためにも有益なポイントです。

1 心を込めた「あいさつ」が出来る

■これは相手を大切にしている行為です。人を無視して神様を愛することはできません。長い言葉で丁寧にします。例えば、ただ「どうも」とか「おはようございます」だけでなく、ゲストの方などには「遠いところからおいでくださってありがとうございます。」などです。

2 信徒と友達にならない

■自分の境界線、領域を保ち、適切な距離を置くことが大切です。友達は互いに対する責任がありませんので、注意や指導もしづらしい、言われたほうも受け入れがたいものです。友達レベルでは信徒の魂のケアをしきれないということを感じておきましょう。

3 自分から謝ることができる

■「すいませんでした」だけではなく、何をしたから謝っているのかをきちんと伝えます。「もし、私が悪かったらごめんなさい」の、「もし」は自分が悪くないことを暗に伝えているので真の謝罪にはなりません。「～をして申し訳ありませんでした。お赦してください」と言いましょ。

4 わきまえることを学ぶ

A 自分の立場をわきまえる

■牧師が自分に何を期待し、要求しておられるのかを、言われる前に速やかに察知することです。相手の心を読むとは、イエス様の心を読むことと同じです。分からなければ、素直に牧師に聞くことと良いですね。出際、引き際をわきまえるのも大切です。

B 身だしなみをわきまえる

■TPOはもちろんのこと、清潔感が漂うにしましょう。これは服装のことに限りません。気遣いや態度など表に表れていることは、心の装いが表に表れているにすぎません。「神様は私の内側をご覧になるのだから、外見は気にしないでいい」と言っているうちはまだまだ未熟です。個性とは、清められ練られてこそ初めて個性になるのですから。又、個性の長所は短所にもなることを覚えておきましょう。

5 時間を守る

■時間に遅れることは相手の時間を盗むことです。盗みは罪ですね。遅れそうなら連絡を入れましょう。メールのやりとりにおいては、「メールを受け取りました」という確認メールをすると、相手は届いているかどうか煩う必要がありません。

6 コミュニケーション

■牧師から仕事を頼まれたらその進み具合を、信徒に物を渡しておくよう頼まれたら、渡しましたと伝える等、経過や結果をきちんと報告します。

7 感情のコントロール

■感情の起伏は、言い換えると霊性の起伏でもあります。信徒は、牧師やリーダーの表情に敏感です。鏡を見て表情筋をほぐして部屋を出るなどして笑顔を心がけましょう。

8 批判をしない

■牧師のミスをかばいます。信徒と一緒に牧師を批判してはいけません。

9 牧師の説教を恵まれる態度で聞く

■このことほど牧師を励ます行為はありません。同労者であるあなたはいつも牧師を尊敬し、一番の理解者であり、同意者であることを態度で表し、他の信徒の模範になりましょう。

10 孤独に耐える

■結婚するにしても独身でいるにしても孤独に耐えられなければ型崩れしてきます。どんな所でも、立場でもそれぞれに負うべき十字架があります。だからこそ、そこにキリストが拡大されていくよう祈りましょう。